

# 例

様式第5号（第7条関係）

## 事業実績報告書

令和7年7月1日

秋田空港利用促進協議会  
会長 辻 良之 様

住所・所在地 秋田県秋田市山王3-1-1  
グループ名 台湾訪問団2025  
代表者氏名 秋田 太郎

令和7年5月1日付けで認定された事業について、次のとおり実施しましたので、台湾便活用交流促進事業実施要領第7条に基づき報告します。

### 記

#### 1 事業概要

実施期間	令和7年7月3日（木）～7月6日（日）
渡航先	台湾・台北市
参加人数	4名 ※参加者名簿を添付すること。「現地団体等との交流」の場合は、交流先メンバーの名簿も添付してください。

※事業の実施内容や効果がわかるもの（実施状況を撮影した写真やSNS記事、新聞記事等）を添付すること。

参加者名簿は、欄外に参加者の氏名を記載していただいても問題ありません。（名簿の作成は必要ありません）

また、視察場所での集合写真等も1枚以上添付してください。

次のページへ

# 例

## 2 実施事業報告

実施事業の種類 (該当に○)	1 現地団体等との交流	下記に①交流内容、②交流による所感を簡単に記載してください。
	2 現地企業等への訪問	下記に①訪問先で得た内容、②訪問による所感を簡単に記載してください。
	3 現地施設等の視察	下記に①視察の感想、②現地施設への訪問未経験の県民に対する、施設のおすすめポイントや注意点などを簡単に記載してください。

### ① 視察の感想

入場料金はやや高めであるものの、日本人や韓国人など東アジア諸国からの観光客が多く訪れており、肌感覚として台湾人が3割、日本人2割、韓国人3割、中国人1割、その他東南アジア諸国からが1割という印象であった。

館内は他言語表記が完備されており、英語以外に日本語や韓国語での案内があるほか、日本語可能な職員も多数配置されていて、列の並び方などを指揮していた。そのため、人数は多いものの、特に混乱することなく秩序が保たれていた。

唯一気になったのが、交通機関からの動線であった。施設と台北メトロの駅が直結はしているものの、案内看板がやや少なく、どのように行けばよいのかがわかりづらかった。

### ② 施設のおすすめポイント等

日本語対応されており、中国語や英語が話せなくても全く問題なく施設を楽しむことができた。展望台は台北市内でも最も高く位置しており、近隣の再開発地区はもちろんのこと、台北松山空港や台北駅周辺など市内を一望することができ、特に夜景は絶景であった。

ただ、①でも記載したように、台北メトロの駅出口からの動線がわかりづらいため、事前に動画投稿サイトやSNS等で予習しておくことをおすすめしたい。

視察した感想をざっくりとでいいので、  
記載をお願いします。

# 例

## 3 収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	金額	内容
【会費・自己資金等】	790,000	
【公的な補助・助成金】	50,000	本助成金
		助成金額は、
		3～5名 5万円
		6～8名 10万円
【その他】		
合計	840,000	9名以上 15万円

支出の部

(単位：円)

項目	金額	内容
【助成対象経費】	320,000	航空券（往復1名8万円×4名）
	120,000	宿泊費（1名1泊1万円×4名×3泊）
【助成対象外経費】	400,000	台北101入場料等
合計	840,	

※支出（助成対象経費）について、搭乗

助成対象経費は、航空券と宿泊費です。  
 ただ、旅行商品の場合は、全額が対象となりますので、商品額を助成対象経費欄に書いてください。  
 下記でも解説します。

【阪急交通社等の旅行商品を利用する場合】  
 助成対象経費→阪急交通社に支払った料金全額  
 助成対象外経費→記載なしでかまいません。  
 ※ただ、収入の部と支出の部の額が一致するようにしてください。

阪急交通社商品の領収書（写真可）、航空券（写真可・全員分）を同封してください。写真の現像などが困難な場合は、下記にメールで提出でももちろんかまいません。

アドレス : Kanko@pref.akita.lg.jp